

市民協働かわら版

No.62



八月二十七日(火)令和元年度第五回「泉南・市民まちづくりサロン」が泉南市埋蔵文化財センターで開催され、七名(市民五名、職員二名)の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

八月も末、楽しかった夏休みもツクツクボウシの声とともに終わりを告げます。夕暮れが何となく切ない季節になりました。まもなく秋がやってきます。今回のサロン出席者は七名、残暑にも負けず集まったメンバーで、楽しい街づくりのお話の始まりです。

◎ふるさと再考

8月3日(土)に樽井の浜辺で「住吉まつり」が開催されました。大阪湾は神話の時代からは「茅渟(ちのへ)の海」と言われ、五十年前まで樽井の浜では、海の安全、大漁を祈願して「住吉まつり」が行われていました。若い地元の漁師さんが中心となり昨年それを復活させました。おじいさんから聞いたお話を孫が復活させる。面白いですね。彼の言葉「海は毎日匂いが違う。」そう、海や山、街は生きているのです。もう一度、足をよく見て、ふるさと泉南市の息づかいを感じながら、仲間と街を元気にしませんか。

◎遠足なごしゅんぽー

昨年から五回に渡り、「泉南街道物語」をサロンで実施しました。地元の人からの興味深いお話、その後のフィールドワークと泉南の魅力をグッと詰め込んだ楽しい講座となったと思います。参加者からの評判も上々でした。一度、他の地域の街づくりの取り組みも見てみたいとなりました。堺から河内を抜け奈良に通じる「竹之内街道」では景観保全の活動をしているようだ。街道繋がりで見に行ってもいいのでは。参加は自由、楽しい遠足みたいな感じで行きたいなとなりました。楽しみながら街づくり！

◎サロン主催「文楽入門」来てね！

九月二十四日(火)午後一時三十分スタートで午後三時三十分まで。ごじゅんぽーは、泉南市埋蔵文化財センター。楽しいですよー待ってますー！

◎若い人の参画

どの市民団体も高齢化の問題を抱えています。若い人は、お仕事、子育て、学校ととても忙しいのが実情です。それでも「住吉まつり」「みだいに」若者が中心となって、やり遂げたものもあります。毎回サロンに参加してもらっているのは難しいですが、何か講座をやらせてもらってもいいのでは。無理をせず出来る範囲で。少しずつでも輪を広げていきたいです。次回のサロンは、九月二十四日(火)一時三十分からの「文楽入門」に代えさせていただきます。泉南市埋蔵文化財センターで！

【茅渟(ちのへ)の海】



大阪湾はチヌの海と呼ばれています。神話の時代に九州の高千穂から奈良盆地を目指して神武天皇一行が旅立ちました。兄の五瀬命(イツセノミコト)が戦で矢傷を負い、山之井水門と呼ばれた樽井付近の浜辺で傷を洗い雄叫びをあげました。その血で海が真っ赤に染まったとの言い伝えから「血沼(ちのへ)の海」と呼ばれています。男里にある男神社は別名「雄叫びの宮」として五瀬命をお祭りしています。五瀬命の雄叫びは神武東征伝のクライマックスです。大阪湾の別名「チヌの海」は泉南市での出来事からつけられているのです。水門は「ミナト」と読み、古代には良好な天然の港をなしていたのでしょう。樽井から男里にかけて山之井水門の史跡がいくつも残っています。神話の時代に想いを馳せながら史跡めぐりも楽しいものです。

発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一ー一

TEL：〇七二一四八三ー〇〇四

(令和元年九月六日発行)